



高石市環境・廃棄物リサイクルフェアでのミニディスカッションの様子

カーボンニュートラルの実現へ 私たちにできること

市では「高石市地球温暖化対策実行計画」を策定し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを始めています。一人ひとりの“ちょっとした”取り組みが二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制につながります。地球環境を守るため、私たちにできることから始めてみましょう。

問合せ 環境政策課 ☎(275) 6266

カーボンニュートラルって?

地球温暖化への影響が大きい二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

高校生と考える地球温暖化対策 市長 × 高校生

阪口 伸六

清風南海学園
インターアクトクラブ

高校生が始めたこと



高校生…私たちは、アイシティecoプロジェクトと呼ばれる使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収活動を行っています。リサイクルに適しているポリプロピレン素材で作られているにも関わらず、リサイクルとして回収される率が1%未満だと知り、回収活動を始めました。

空ケースは燃やすと二酸化炭素が発生するため、回収してリサイクルを推進することは、地球環境の保全に繋がります。



リサイクルに適している使い捨てコンタクトレンズケース



企業と行政が始めたこと

市長：市域の約半分を占める臨海コンビナートでは、石油から植物油等に切り替えて製品を製造し、二酸化炭素の排出量を削減するなど、熱心にカーボンニュートラルに取り組んでいる企業があります。

また、市ではこのような新エネルギー関連事業を営む新規進出企業等を支援するため、「高石市企業立地等促進条例」を令和4年4月1日に改正し、固定資産税・都市計画税を5年間課税免除とする施策を始めました。この制度を活用してもらい、二酸化炭素の排出抑制に取り組む企業が臨海コンビナートに増えてほしいと考えています。

身近なところから始めてみる

市長：家庭系可燃ごみ一部従量制や、資源ごみの分別回収などでごみの分別はかなり進んでいますが、どうしても分別されずに焼却されることがあります。そのため、二酸化炭素の排出抑制には4Rの取り組みが必要だと考えています。環境問題は世界規模の問題ですが、一人ひとりが身近なところから環境問題に取り組んで行くことが大切です。それが、カーボンニュートラルの実現に繋がると考えています。



高校生：学校で環境問題について学ぶ場や、自分達で考える場面もありますが、グローバルのことを考えるにはローカルなこと、自分達の身近なところから取り組んで行くことが大切なんだと思いました。

日常生活でできる4Rの取り組み

02 Reduce (リデュース) 少なくする

- ・食材は計画的に購入し、使い切る
- ・洗剤やシャンプーは詰替えできる製品を選ぶ

01 Refuse (リフューズ) 断る・買わない

- ・買い物では過剰包装を断り、マイバッグを持参する
- ・使い捨ての割り箸や紙コップの使用を控え、マイ箸・マイボトルを使用する

04 Recycle (リサイクル) 再生利用する

- ・ごみを捨てる前に資源ゴミとなるかを確認する
- ・新聞・雑誌・段ボールなどは自治会などの集団回収を利用する

03 Reuse (リユース) 再利用する

- ・不要になったものを再利用(歯ブラシを掃除で使うなど)する
- ・使わなくなった物は、欲しい人に譲るか、リサイクルショップに売る